

大学生による上宮津地区での地域づくり活動@城山

日程：2021年10月9日(土)～10月10日(日)

参加者(大学側)：教員2名

学生6名

活動概要：

上宮津地区では宮津市の副業プロフェッショナル人材「MIYAZU 未来戦略マネージャー」との連携をもとに地域資源を活かした農村体験ツアーの試験的实施に向け、上宮津喜多集落に位置する上宮津城址(城山)の整備(登坂のための階段づくり)が2021年10月8日～10月11日(作業準備及び後片付けを含む)にかけておこなわれた。

本活動では10月9日～10日にかけて城山での階段づくりを支援するとともに、地域の子供、親子を対象とした自然教室(樹木のネームプレート設置)(10月10日午前10時～12時)を地域関係者と協働で企画・実施した。自然教室で使用するネームプレートの作成にあたっては、京大工房(京都大学・学生サークル)の協力を得た。また自然教室では参加学生によって作成された樹木観察冊子が配布された。階段づくり及び自然教室には2日間で延べ15名の大学生を含む大学関係者が参加し、城山の樹木約30本(21種)に対してネームプレートが設置された。本活動は京都新聞朝刊(2021年10月15日)に掲載された。



レーザープリンターを使用したネームプレートの作成



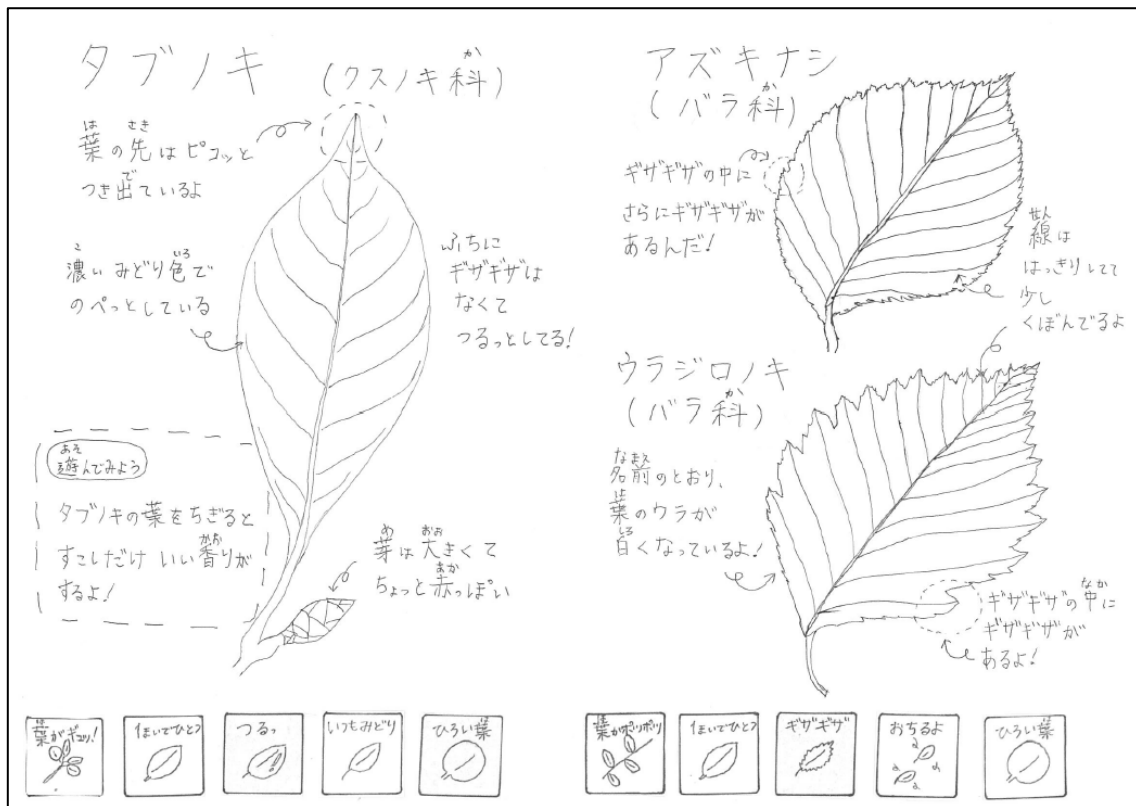
完成したネームプレート



階段づくりの様子



子供たちとのネームプレート設置



自然教室で配布された樹木観察冊子の一部 (学生手作り)